

平成28年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立 桂東 小学校)

1 1回目評価

<ul style="list-style-type: none"> 個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた)自校の取組	(取組結果を検証する)アンケート項目・各種指標
確かに学力	基礎・基本の学力の定着	授業を中核にしながら、算数教室・家庭学習のさらなる充実	ブレジョイントプログラム、ジョイントプログラムの結果
	わかる授業の創造	めあて意識を大切にし、問題場面を把握できる算数科の授業づくり	各学年年2回の公開授業と授業を通した若手研究
	学習規律の確立	生徒指導部と児童会がタイアップした月目標設定	児童の話す・聞く態度の変容、代表委員会でのふりかえり、
豊かな心	他者を認める心の育成	毎月の「ともだちの日」人権作文の発表	人権作文の発表は全校集会で行い、各学級でふりかえる。
	他者に対する心遣いのできる子	学校評価アンケート 親切カードの投稿箱設置	友だちとなかよ遊んでいます。
健やかな体	基本的生活習慣の確立	「早寝・早起き・朝ごはん」の呼びかけ	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣がしっかり身についています。
	体力の向上	部活動への参加促進 全校マラソン大会と朝マラソン	部活動の参加率 マラソン参加状況
独自の項目	・情報発信の充実 ・伝統文化にふれる機会 ・エコライフ推進	積極的なホームページの更新 冠句 牛乳パック・アルミ缶などの回収数	学校ホームページへのアクセス数 冠句投稿数 牛乳パック・アルミ缶などの回収数

自己評価			
評価日	平成28年9月16日	評価者・組織	学校評価委員会
アンケート結果・その他指標の結果について整理	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策	
全国学力・学習状況調査の国語・算数の平均正答率が2~5%全国平均より上回る。	学級(学年)により全国学力・学習状況調査結果、ジョイントプログラムの調査結果に差がある。	全市平均を下回っている教科(学級)の授業の見直しをする。	
集団解決の場面での意見交流が活発になりつつある。	めあてを意識することにより、自分の思考の流れを表現できつつある。	児童に考えさせる部分と教員が指導する部分を明確にしていく。	
月目標を達成できている児童(学級)が増えている。	毎月振り返ることにより児童の意識が高まっている。	月目標が単なるスローガンに終わらないように、常に意識していく。	
学習で学んだことが、日常の生活に生きている。	福祉教育を通して、弱い立場の人になって考えることができるようにになってきた。	福祉教育の中で、いろいろな立場の人々とふれあっていく。	
たてわり活動では、上級生が下級生の世話ができる。学校内では、しっかりできているが、下校後は不	たてわり活動を通して、相手を意識して行動できるようになってきている。	言葉づかいについては、児童会活動と連携し「マナーアップ週間」を強化していく。	
「早寝、早起き、朝ごはん」は、ほとんどの子どもがしっかりできている。	起床については、90%以上の児童がめあての時刻に起床できている。	睡眠時間の確保の重要性について、保護者への発信していきたい。	
部活動参加者は6割、マラソン参加児童数は9割をこえる。	運動部活動への参加も増えている。	外遊びの推奨、継続的な部活動の取り組みを支援していく。	
・ 年間72,989回(平成27年度)、平成28年度は、9月末日現在、36,000回を超えるアクセス数。 ・ 毎月300を超える投稿数。 ・ アルミ缶の回収代金は毎月1万円をこえる。	・ 4年前からホームページの更新が頻繁に行われるようになつた。 ・ 五七五の定型に親しみ書く習慣がついている。 ・ 地域の方からも協力していただくことができている。	・ センターサーバの容量に気をつけながら継続していく。 ・ 児童朝会などで、優秀作品を表彰して動機付けをしていく。 ・ 回収代金を有効利用するとともに、そのことを学校 darüberなどで発信していく。	

学校関係者評価	
評価日	平成28年9月30日
評価者(いざれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
地域性を考えて、まだ子どもの学力を伸ばせる余地はあると思う。	地域ボランティアなどによる授業なども取り入れ、幅広い学力をつけてほしい。
押しつけではなく、主体的に取り組ませることはともよいことである。	学校と歩調を合わせて地域でも、協力していく。
目標をもってがんばることは、大切なことだ。	家庭でも両親や祖父母ががんばる姿を見せていくようにする。
登校時の交通指導の時、地域の人にあいさつできていない場面を見たことがある。	見守り隊を中心に地域の大人が粘り強く呼びかけていくほかないと思う。
たてわり活動の場面で感じた子どもたちの良さを保護者や地域の皆様に学校だりなどで広く知らせていきたい。	地域のいろいろな方とのふれあいの中で学ぶことも多いので、地域行事への参加を推奨する。
就寝時刻は、高学年がめあての時刻に就寝できていないことが目立つ。	基本的生活習慣の確立には家庭の支えが必要であるので、保護者の皆様に働きかけていく。
低学年の児童ががんばる高学年の姿を見て、よい伝統ができつつある。	継続的な取り組みに向けての支援をしていく。
・ 学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。更新を楽しみにしている。 ・ 学校だけでなく、地域の方も環境に対する意識が高いのはいいことだと思う。	より学習を充実させるために、地域在住の伝統文化に携わっておられる方による授業支援が必要であれば、学校運営協議会としても人材確保に協力していく。